

双葉西小だより

令和3年12月22日 文責 学校長 平塚 克人



がんばった2学期！健康で安全な冬休みを！！

いよいよ明日23日(木)で2学期82日間の幕が閉じられ、1つの区切りを迎えようとしています。今学期は始まって早々に2週間の分散登校がありました。したがって5日間の出席停止となり、その5日間以外休まずに登校したお子さんでも出席日数77日でした。9月12日(日)に県内のまん延防止等重点措置が解除された後、県内外でもしばらくは新型コロナウイルス感染症が収まらず、運動会や西小まつり等の大勢が集まるような大きな行事は例年通りの実施というわけにはいきませんでした。子供たちの学校での様子を直接見てもらうことができず、保護者や地域の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。



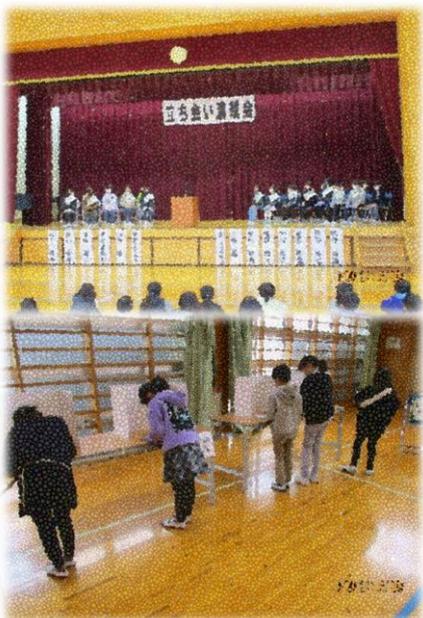
そのような中ではありましたが、今学期も保護者・地域の皆様方には、各学年の学習ボランティアでの子供たちへの応援、お子さんの健康管理の徹底、登下校の見守り等、子供たちのために様々なご支援、ご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

コロナ禍の中ではありましたが、運動会、西小まつりでの学習成果の発表、児童会活動、児童会役員選挙など、大きな行事や学習の取組を通して、子どもたちは心や体も大きく成長し、よく頑張ることができたと思います。



明後日から始まる18日間の冬休みは、この1年間を振り返ると同時に新しい1年に向けて抱負を持つよい機会です。今後とも感染症対策を行い、健康と安全に気をつけて有意義な冬休みを過ごすことができるように、ご家庭でも子どもたちへのご指導をよろしく願いいたします。また、大掃除や新年を迎える準備等、家族の一員としての手伝いや体験活動をしながら、ぜひ子供たちと多くの家族ふれあいの時間をとってほしいと思います。それでは、皆様良い年をお迎えください。

自分たちの活動を改めて考えた児童会役員選挙



今月8日(水)に児童会役員選挙(立会演説会・投開票)が行われました。選挙管理委員会(3~6年代表)や候補者がいます4・5年生は先月の早い段階から、この日のために準備を進めてきました。実質的な選挙活動は先月30日から始まり、どの立候補者もしっかりとした責任者と心強い推薦者と共に、候補者の考えや良さをアピールするための多くの工夫をして支持拡大を訴えてきました。

立会演説会では12人の候補者とその責任者が、大勢の前での緊張はあったと思いますが、堂々とした態度と聞き取りやすい声量・スピードで演説を行うことができました。これもこれまでの児童会活動がベースとして子供たちに根づいているからこそのことだと思います。今回の取組みを通して、児童会活動は自分たちの手で行わなければならないことを再認識できたのではないのでしょうか。立候補者、責任者、推薦者、応援者、選挙管理委員、投票者等、選挙に関わった全員がとても頑張り、どの子にも成長がみられました。

子供たちの遊びに思う

今年度も児童会が、積極的に全校児童が関わり合う遊びの活動を大変積極的に企画実行してくれました。これまでも「たてわり遊び」を中心に行ってきましたが、今月は今年度5回目となります2学年ずつが中休みに校庭で遊ぶ「児童会の日」を計3日間行いました。また、「西小アドベンチャー ～トライ＆チャレンジ～」では、2日間の双西タイムで青空組・太陽組に分かれて、6年生が体育館に用意してくれた面白ゲームで、たてわり班ごとに子供たちが夢中になってチャレンジしました。先日は体育委員会主催の「外で遊ぼう DAY」も実施され、体育委員会が用意した的当て等のゲームでも楽しみました。子供たちのその元気な様子を見ているだけで、こちらの気持ちが若返る思いでした。

少子化、ネットやゲームの普及等で、他者と直接遊ぶことが少なくなってきている現代ではありますが、意図的に仕組まれた遊びの機会とはいえ、子供たちの大変楽しそうな表情や活発な動き、励まし合いや上級生が下級生に親切に接する様子、また下級生が上級生から優しくしてもらっている姿等からは、遊びが非常に大きな意味合いを持っていることがうかがえます。子供たちの成長にとって「遊び」は必要不可欠だと改めて感じました。

遊ぶことによって、子供は頭を使い、思考する力、記憶する力、コミュニケーション能力など多くの力を発達させます。子供にとっての遊びは心身の成長には欠かせない、食事や睡眠、排泄などと同じくらい重要なものだと私は考えています。遊びの中で怪我をしたり、傷ついたりすることもあります。そのことから次に失敗しないために一生懸命考え、行動し、解決策を見出します。そのプロセスこそが子供の成長に何よりも重要だと思えます。大人から見ると子どもはただ遊んでいるだけに見えるかもしれませんが、子供は遊びの中から、生きていくうえで大切なことを獲得しているように思えます。その大切なこととは主に次の3点だと私は考えています。

1. 脳や体を発達させる

鬼ごっこなどの体を動かす遊びであれば、走ることで体力の向上、体を機敏に動かす力、瞬発力、判断力などを鍛えていくことができます。さらにルールを守って遊びを楽しむことで社会性を身につけ、コミュニケーション能力を高めていくことも可能です。ただ体を使うだけの遊びに見えても、子供の脳は様々なことを吸収します。走ること、タッチすること、ぶつかったり転んだりしないように体を動かすことなどを学びます。これらは生きていくうえでとても役立つ力です。

2. 創造性や柔軟性を育てる

子供はときに大人が考えつかないような突飛な発想をしますが、これは子供の脳が柔軟で創造性に溢れているからです。創造性や柔軟性を養うためには、とにかく子供に自由に遊ばせることが大切です。最初から大人のまねばかりさせたり、ルールで厳しく縛りつけたりしてしまうと独創性や柔軟性は育ちません。独創性、創造性、柔軟性などは、大人になってから得ようと思って得られるものではありません。子供の頃から様々な遊びをして、様々なものに触れて、様々な考え方をすることで、大人になってもこれらの力を発揮することができます。

3. 自発的な力を育む

遊びは、子供の「やってみたい」「遊んでみたい」という気持ちから始まる自発的なものです。鬼ごっこやスポーツは、子供の身体能力を鍛えることができるだけでなく、社会性を育てることもできます。ルールを守ることの大切さ、集団行動、コミュニケーション能力などの社会性が身につきます。これは生きていくうえで非常に大切なことです。高い学歴よりも、このような社会性が人生において役立つ場面はいくつもあります。テレビゲームなどが娯楽の定番となって久しいですが、子供の脳を発達させるためには、やはり外遊びが大切です。外で遊ぶことで、子供は生きていく方法を学びます。自然に触れることで触覚や視覚、聴覚などを刺激し、好奇心、想像力などを膨らませることができます。遊具を使ったり駆け回ったりすることで体力、身体能力を高めることができます。さらに、外で遊ぶことにより、周囲の大人や同年代の子どもと接する機会が増え、コミュニケーション能力、社会性を養っていきます。

少子化や遊べる場所の減少、不審者の心配等の問題はありますが、寒い冬だからこそ大人から子供たちに外遊びを勧めたいものです。

第18回小中学生新聞感想文コンクール学校賞

今年度も小学校の部で学校賞を受賞しました。クリスタルトロフィーと共に副賞として山梨日日新聞社発行の「武田信玄入門」「東京オリンピック2020 特別報道写真集」を頂きました。図書館にあるので、児童の皆さんはページをめくってみてください。

